

研修Ⅰ 「若い教師のための基礎・基本講座Ⅱ 国語科授業のセカンドステップ」

『さぬきの授業 基礎・基本』に沿った読みの授業 説明文の文章編

～教材文『ビーバーの大工事』（東京書籍 2下）を題材として～

1 教師の心構え

「教師の最も重要な仕事は授業です」

子ども理解に基づいた教材研究をする。

学習指導要領をしっかりと読む。指導事項を2年間で網羅する。

2 付けたい力に合わせた具体的な学習目標を設定する

学習指導要領「C 読むこと」第1学年及び第2学年の指導事項（エ）を中心にした場合と（イ）を中心とした場合とで比較

（エ） 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。

付けたい力

説明的文章を大事な言葉を探しながら読む力

言語活動

動物や生き物について書かれている文章を読んで、友達が作ったクイズに答える。

学習目標

動物や生き物について書かれている本の中からクイズの答えにあたる場所を見つけ、内容を正しくつかんでクイズに答えることができる。

（イ） 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

付けたい力

動物の生活の仕方について説明された文章を、順序に沿って読むことができる力

言語活動

動物の生活の仕方について説明された本を読んで、興味をもったことについてクイズを作ったり、友達の作ったクイズに答えたりする。

学習目標

時間や場所などの経過を表すことばを手がかりにしながら、動物の生活の仕方を順序に沿って読み、クイズを作ったり、友達の作ったクイズに答えたりする。

3 目標の明確化

学習目標には、「どのように考え」「何をどのようにして」「どんなことができるようになるのか」を明確にする。

【例】

時間や場所などの経過を表すことばを手がかりにしながら、← どのように考え

動物の生活の仕方を順序に沿って読み、← 何をどのようにして

クイズを作ったり、友達の作ったクイズに答えたりする。

↑

どんなことができるようになるのか

4 単元を通して「考える力」を育成する

単元を通しての学習課題を明確にする。



児童の意識

生き物について書かれた本を読んで、興味をもったことをクイズにしたり、クイズに答えたりしていくのだな。

教科書の教材文を読む際の学習課題を明確にする。



児童の意識

教科書の教材文をもとに、クイズに答えよう。みんなでどんなふう読んでいけばいいのか考えよう。

教科書以外の文章を読む際の学習課題を明確にする。



児童の意識

教科書以外の文章をもとにクイズに答えてみよう。初めて読む文章でもクイズに答えることができるようになるろう。

自力で言語活動を遂行する際の学習課題を明確にする。

児童の意識

図書室で生き物について書かれた本を探して読もう。読んで興味をもったことをクイズにしよう。友達のクイズにも答えよう。自分でクイズを作ったり、答えたりするよ。

- ・ 順序に沿って読むために身に付けた具体的な能力を使って、他の文章を自力で読めるようにしていくこと
- ・ これらの学びをクイズを作ったり、答えたりするという目的を明確にしながらかに行っていくことが大切

「考える力」を育成するための言語活動を充実させる。ただ設定するだけでなく、付きたい力は何なのかを見極めていく必要がある。

5 課題解決のために取り組む学習活動を明確にする

大事な言葉を探しながら読む

順序に沿って読む

場所の移動がわかる言葉を見付ける
動作を表す言葉を見付ける
言葉と言葉をつないでいく
その言葉がないとどうかを考える
前の段落とつないで考える

順序に沿って読むためには、様々な能力（学び方）が必要

6 学習指導過程に沿って、精選し、計画的、意図的に発問する

